



若葉区地域福祉計画 推進協議会だより 第2号

平成 18 年 10 月 4 日発行
編集：若葉区地域福祉計画
推進協議会事務局
若葉区貝塚町 1258-20
(若葉保健福祉センター内)
043-233-8572

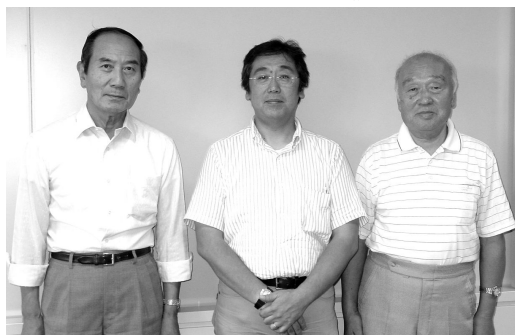
第二回 若葉区地域福祉計画推進協議会開催

第二回若葉区推進協が、9月9日(土)に開催されました。第一回会議での質問事項(区社会福祉協議会の組織や業務内容、地区部の活動)について事務局より説明の後、地域福祉活動状況の報告、続いてパイロット事業への意見具申が行われました。推進協のあり方や広報紙についても活発な意見が交わされました。

地域福祉計画と 推進協の役割

委員長 花島治彦

平成 16 年 1 月から、4 つの地区フォーラムで「身近な生活課題」を考えることから始まった地域福祉計画策定のあゆみが、平成 18 年 3 月「若葉区地域福祉計画」だれもがいきいきと暮らせるしあわせのまち「若葉区」としてまとめられました。77 人のフォーラム委員が生活者の視点にたつて「安心、安全、しあわせ」に暮らせるまちづくりについて考えました。



安達副委員長 花島委員長 奥井副委員長

しかし、わたしたちが「いきいきと暮らせるしあわせのまち」を実感するためには、一つひとつの課題の解決としくみづくりをしていなければなりません。若葉区地域福祉計画推進協議会の主な役割は、今まで交流のなかった地域の団体や機関、グループなどが情報を共有し、課題の解決に向けた取り組みへとつなげること。多くの方に地域福祉に関心を持っていただくための情報提供です。副委員長の安達委員、奥井委員はじめ、各委員の皆さんと協力して進めてまいります。また、会議は傍聴もできます。計画推進のために皆さんの実践活動やご意見などをお寄せ下さい。

次回推進協は 10 月 28 日(土)を予定しております。

だれもが いきいきと暮らせる しあわせのまち 若葉区

- あなたとわたしでつくる
支えあう地域福祉の実現を目指して -

基本目標

若葉区地域福祉計画の体系図です。

基本目標を実現するための基本方針を“5つの仕組み”とよび、15の施策の方向性が示されています。次号以降では、さらに具体的な取り組みとして“29の提案”の内容を、仕組み1から順に紹介していきます。

仕組み 1

だれもが顔見知り、
交流とふれあいの
仕組みをつくりましょ
う

- 1 近隣同士がふれあう機会をつくる
- 2 世代やハンデを超えてふれあう機会をつくる
- 3 気軽に過ごせる場所をつくる

仕組み 2

あなたもわたしも地
域の一員、身近な支
えあいの仕組みを
つくりましょ

- 4 身近なところから支えあいの機運を高める
- 5 支えあうシステムをつくる

仕組み 5

世代を超えて、ともに学
びあい参加できる仕組
みをつくりましょ

仕組み 4

必要な情報が行き渡り、
気軽に相談しあえる
仕組みをつくりましょ

仕組み 3

備えあれば憂いなし、
安全と見守りの仕組
みをつくりましょ

- 6 防犯・防災意識を高め実践する
- 7 要支援者を見守る
- 8 緊急時の支援システムをつくる
- 9 障害者を支援する環境を整える
- 10 バリアフリーをすすめる
- 11 交通問題を改善する

- 13 家庭や地域で福祉の心を育む
- 14 人材を発掘し活用する
- 15 福祉を学び実践する
- 12 身近に情報が得られ相談できる

推進協トビックス

今回の議題の一つ、地域福祉活動状況の報告では、ボランティア連絡協議会(略称V連協)の紹介がありました。

V連協はボランティアグループ同士の連携を目的とした組織です。主な活動としては、ボランティアひろばでの活動発表、グループ対象の研修会の開催、広報紙の発行などで、千葉市ボランティアセンターを事務局とし、企画運営は加盟グループによって行われています。施設等からのボランティア依頼には加盟グループの力を借りることも少なくありません。

ボランティアグループについての情報や、グループに所属して活動をしたい方、お気軽にボランティアセンターや区社協事務所へお尋ねください。個人ボランティアの依頼の相談や登録も受け付けています。また若葉区事務所のある若葉保健福祉センター(四階)233・8181には区ボランティアセンターが設置され、資料の閲覧ができますので、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



委員より

退職後に障害者向けのバドミントン、テニス、書道の講座と出会い、友人に誘われて障害者のスポーツ活動を支援する団体に所属。その後スポーツ指導員の資格をとり、現在も活動を続けています。経験上、お役所の業務はタテのラインで、自分から求めているかなければ必要な情報が得にくいように感じます。

これからはタテ・ヨコのラインのみでなく網の目のように情報網を作っていくことが必要。例えば、自治会等が行うイベントでV連協の加盟グループを活用できたり、障害者や高齢者が外に出るためのサポートについて、行政や各団体に関心を持ってもらうなど、推進協を通じて様々な組織と住民との橋渡しができるようになると思います。

地域福祉パイロット事業

—第1回助成事業が決定しました！—

No	地区部会名	事業名	内容・若葉区地域福祉計画との関連
1	御成台、千城台西・北地区部会	地域ふれあいポスターコンクール	小中学生を対象に開催し、地域福祉推進の取り組みについて考える機会をもつ。優秀作品は表彰・掲示し、地域住民への啓発を図る。 【仕組み5 施策の方向性13 提案(26)福祉のこころを育む活動の推進】
2	都賀地区部会	地域の防災力を高める研修事業	地域の防災意識を高めるため、住民を対象に啓発的な講演会を行う。 【仕組み3 施策の方向性6 提案(12)防犯・防災意識の啓発活動】
3	若松地区部会	地域・親子ふれあい活動事業	児童の遊び場に親や地域住民が参加し、様々な人との交流を通じて児童の健全育成を目指す。また大人同士の交流も図る。 【仕組み1 施策の方向性1 提案(2)子どもたちを見守り育てる活動の実施】
4	千城台東南・金親地区部会	認知症予防講演会	地域住民を対象に認知症予防についての意識を高めるための講演会を行う。 【仕組み2 施策の方向性5 提案(11)地域でできる介護予防】

情報募集中！

若葉区推進協では、情報の発信を目的として地域福祉計画の実践事例やイベント情報を募集しています。みなさんの地区での取り組みについて、ぜひ情報をお寄せください。

推進協だよりに掲載させていただくこともあります。事務局へお気軽にご連絡ください。

地域で実践してきたいわ

出前講座の活用を！

自助と共助の
関係について
よく理解できたよ

第1号で取り上げた出前講座について、若葉区内での状況を調査したところ、9月2日時点での申請件数は18件、そのうち14件が保健福祉関係のテーマでした。

1位「みんなで支えあう介護保険」(市・区合わせて)・・・4件

2位「共に支え合い助け合うまちづくりの取り組み」・・・3件

以下、それぞれ1件ずつ

という結果で、地域福祉計画に対しての関心の高さがうかがえます。その他高齢者に関するテーマはもちろんのこと、「Enjoy!子育て」「自主防災組織の結成」「ごみの減量・資源化について」など、全国的にも注目されている問題について、住民の方々の意識が高まってきているようです。

各地区で実施されている地域福祉計画に関する講座では、活発な質疑が交わされているとのこと。まだまだ来年2月末まで受付を行っておりますので、ぜひご活用ください。

(申し込み先：若葉区地域振興課 043-233-8123)